

注記事項

1. 貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は、1,846,791,821円です。

運営費交付金から充当されるべき賞与見積額は、110,846,346円です。

2. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、774,466円の損失であり、当該影響額を除いた当期総損失は3,140,348円であります。

3. キャッシュ・フロー計算書関係

(1) 資金の期末残高の貸借対照表上の科目は、現金及び預金であります。

(2) 重要な非資金取引は以下の通りであります。

① 寄付による資産の取得	1,101,880円
② 寄付による少額資産の取得等	1,056,752円

4. 固定資産の減損

当期において、以下の資産について減損を認識しております。

(1) 海技大学校児島分校

a. 減損を認識した資産の用途・種類・場所・帳簿価額の概要

用途	種類	場所	減損処理前帳簿価額(円)
教育用	土地(敷地、樹木)	岡山県倉敷市	1,176,406,000
教育用	建物	岡山県倉敷市	139,828,997
教育用	構築物	岡山県倉敷市	7,542,818

b. 減損に至った経緯

海技大学校児島分校の土地、建物、構築物については、独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月24日閣議決定)において、「海技大学校の児島分校(岡山県倉敷市児島味野4051-2)については、その機能を海技大学校本校等へ統合し、校舎は廃止する。」とされました。これを受けて平成20年度児島分校での事業を終了し、平成21年度に海技大学校本校等への機能移行作業を行いその後、校舎の廃止をすることといたします。

c. 減損金額の内訳

固定資産の種類	損益計算書に計上していない減損損失の額(円)
土地	97,405,999
建物	139,828,874
構築物	7,542,766

建物のうち損益外減損損失累計額で計上したものの137,259,771円、資産見返運営費交付金で計上したものの2,569,103円

d. 回収可能サービス価格の算定方法

土地(敷地)は、正味売却価額を使用し、不動産鑑定評価額によっております。建物、構築物及び土地(樹木)については、正味売却価格を使用しておりますが、売却価値がないため「0円」(但し、処分されるまでは、構成品単位で備忘価格「1円」で管理)として算定しております。

(2) 国立小樽海上技術学校

a. 減損を認識した資産の用途・種類・場所・帳簿価額の概要

用途	種類	場所	減損処理前帳簿価額(円)
教育用	土地	北海道小樽市	813,966,500

b. 減損に至った経緯

また、国立小樽海上技術学校の土地については、市場価額が著しく下落しており、回復の見込みが認められないため減損を認識しております。

c. 減損金額の内訳

固定資産の種類	損益計算書に計上していない減損損失の額(円)
土地	489,966,500

d. 回収可能サービス価格の算定方法

土地は、正味売却価額を使用し、不動産鑑定評価額によっております。